

オウム対策住民協議会ニュース

オウム真理教との闘争の原点

上九一色村の闘い <要旨>

—オウム対策住民協議会第12回学習会から—
元上九一色村富士ヶ嶺オウム真理教対策委員会

副委員長 竹内精一氏

上九一色村紹介

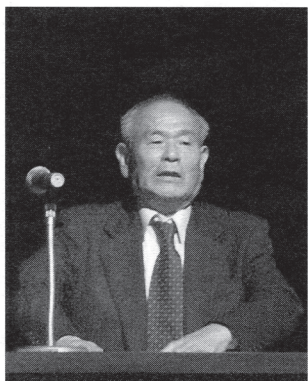
一九九五年三月二〇日、地下鉄サリン事件が起こりました。この事件迄の「教団や上九一色村の状況」を皆様に伝えたいという思いで本日やってきました。

上九一色村は、戦後、国が治安維持や食糧増産を目的に、満州からの引揚げ者約三五〇戸を入植させ開拓した集落で、富士山麓の富士ヶ嶺(ふじがね)地区に位置しています。この上九一色村とオウムとの係わりは、事件発生六年前に、当時一五〇戸になっていた村へのオウムの進出で始まりました。

進出当初、子供たちは白装束で覆面行進する信者を怖がり、大人達はその臭さにあきれてました。

信者の生活

信者が臭いのは当たり前で、彼らは、風呂には数ヶ月に一度位しか入らないのです。入らないほうがエネルギーが貯まるとし、自慢にもなるのです。それ



ばかりか、水は井戸水に加え、これまたエネルギーを貰うとして麻原の入った風呂の水を飲む始末です。
信者が出家するときには、生命保険や家財道具に至る全財産を処分しそのお金を寄進して、無一物になります。ここでは、食事は一日一回、毛布にくるまるだけの睡眠は三時間、炊事などの分担を決め、それ以外は修行の時間、といった生活です。

闘いの歴史

オウムの進出は、サティアン建設から始まりました。オウムは、すでに至る所で問題をおこしていたので、滝本弁護士などと相談しながら戦いました。警察などに助けも求めましたが、

烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

彼らは動かないばかりか、オウム得意の訴訟攻撃では、逆にこちらが罪になることもありました。一体、誰と闘っているのか疑わしくなるほどでした。我々は満州で流浪しそこから引揚げてきた者で、ここに根を張る覚悟をしていたので、闘いは延々と続きました。以下はその一部です。

①サティアン建設開始時、住人の人格権擁護の名目で建設差止訴訟を起す。

②サティアン建設用生コン車を通らせないように座り込む。オウムの通報で駆けつけた警察は住民を排除した。

③住民の「出て行け」の看板に、宗教弾圧だとオウムが抗議する。

④看板を外せば覆面行進はやめると取引を提案してくる(取引はオウムの常套手段)。

⑤「坂本(弁護士)のようにになりたいか」など、耳を疑う脅しをした者もいた。

⑥記者会見までひらき、通路交通妨害罪でこちらが起訴され、起訴猶予処分になった。

⑦交通できないように側道に穴を掘る実力行使にでた。

その後、この穴で車の横転事故がおき、運転手(信者)が即死しました。教団は、可哀想の言葉もなく、カルマ(業)としてそのまま放置しました。教団の本質を現す出来事でした。

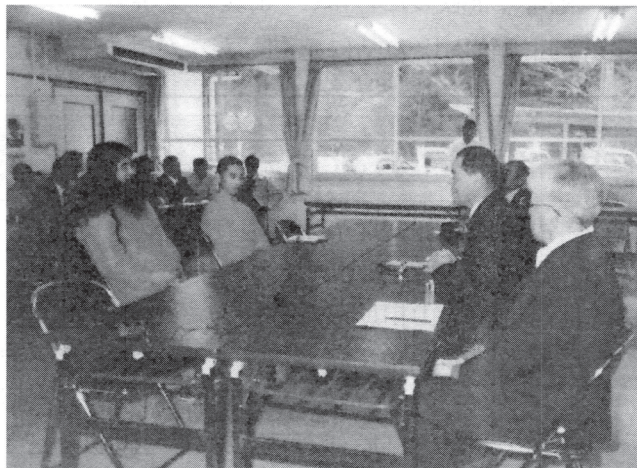
あるとき、村長のたつての希望で麻原と村長との会見が実現しました。麻原は、私が同席したのに対し、「オウム反対」を掲げ



白装束で行進をするオウム信者

教団と麻原のエピソード

あるとき、村長のたつての希望で麻原と村長との会見が実現しました。麻原は、私が同席したのに対し、「オウム反対」を掲げ



村当局と教団との交渉

処分からもれたのか、一九九四年松本にサリンをまいた車が一台だけ残っていました。荷台の横に窓がある車で、「不思議だな!なんだろう?」と思いつながら写真をとったのを覚えています。

最後に
この六年間で夥しい数の写真をとりましたが、信者の写真は取っていません。これは、一番悲惨な思いをしているのは一般信者であり、彼らこそ教団から救われるべきもの思いからでした。実際、逃げてきた信者を匿いもしたし、一文無しなので親元に帰る汽車賃を貸した事もありました。彼らは、教団時代が履歴書では空白で、働きたくても働けず、一番気の休まる場所は教団なのです。実際、この烏山の道場でサティアン時代の信者を見かけました。彼らを社会復帰させるのが大事です。又、我々は、村や警察・公安の力を借りられませんでした。共に闘うのが希望でした。この世田谷の住民協議会は、地域と行政の世田谷区が一体となり、信者に脱退を呼びかける運動をしていると伺いました。これに共鳴し、エールをおくりたい。今後とも風化させることなく、頑張ってください。

地下鉄サリン事件前後

オウムは一九九三年の八月にサリン製造に成功しました。地元では、この少し前からいから、信者が防毒マスクをつけ始めたのに気がつき、「良からぬ事をしてる」との直感で、何をしているのだと問いただし続けました。井戸に毒を入れたとか、公安や警察が空から毒をまき富士ヶ嶺地域が汚染されているとか、説明していました。



松本サリン事件でサリン散布に使用した車

六月十七日、烏山区民センター周辺で、対策住民協議会主催「オウム反対抗議集会」抗議デモと第十二回学習会が、三〇〇人を大きく超える住民の参加を得て開催されました。今までは平日夕方に行っていた「抗議集会」でしたが、今回初めて土曜日午後(二時から四時半)の実施に加え、又、学習会にスライドを用いる新しい試みも取り入れられました。共に好評でしたが、住民の絶大な支持を頂いたのは、講師の竹内精一氏で、その誠実な人柄溢れるお話しに感銘し、感謝するアンケートが多数寄せられました。実に、竹内さんの名前を挙げての感謝は、アンケートの三割にみられました(アンケート結果は裏面参照)。

第12回抗議集会・学習会アンケート集計報告

【実施日】 2006年6月17日(土)

【回収枚数】 89枚

1. 抗議集会・学習会に参加したことがありますか？

初めて(27)、2回目(8)、3回目(11)、
4回目(5)、5回目(3)、6回目(5)、7回目(0)、
8回目(5)、9回目(1)、10回目(6)、11回目(2)、
12回目(12)

2. あなたのお住まいは？

北烏山(27)、南烏山(18)、給田(2)、粕谷(2)、
上祖師谷(4)、上北沢(8)、八幡山(13)、
その他(15)(内訳:駒沢、祖師谷(2)、代沢、川崎市(2)、
桜丘、船橋、その他(7))

3. 今回の学習会について、感想をお書き下さい。

- ・今までで一番心に響いた。一市民の活動のすごさを感じた。多くの方に聞いて欲しい。
- ・体験した人の言葉は強い。
- ・とても興味深く聞かせてもらった。財産を剥奪したことで帰る家をなくしている。オウムにいる期間は人生の空白期間。一人ひとりを説得し、家へ帰すことで内部からの崩壊を目指す。という話、ごもつとも。
- ・事件発生後11年。ともすれば忘れがちになるオウム真理教を風化させないための抗議集会、大いに意義あり。
- ・シュプレヒコールの際、大半の人の声が小さすぎる。特に、旗を持っている人、横断幕を持っている人は、リーダーの責任意識を持って片手は空いているのだから、形の上でもがんばって欲しい。ホール内の学習会も、タスキ・ハチマキは、皆でつけているほうが良いのでは・・・
- ・講演で痛感したのは、“正義の実現”でした。
- ・今回は竹内氏の話に感動した。なぜあそこまで信念を持っ

て行動できたのか不思議でした。戦争体験だけでなく氏の人生に対する誠実さを感じた。

- ・ビジュアル的にも飽きずに面白かったです。
- ・貴重なスライド写真ありがとうございました。まとまった形で公開してみてもいいかと思いました。
- ・今回のデモは早い時間だったので、街頭の人々へのアピール効果があったと思う。こちらも人の顔が見える分、張り合いがありました。竹内氏の迫真に満ちた話に息を飲む思いでした。

4. 現在オウム真理教に対する解散・解体運動を行っている烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会に対するご意見、ご希望がありましたらお書き下さい。

- ・今後も根気強く活動することが大切だと思います。住民としてお互い頑張っていきましょう。
- ・継続は力なり。共に頑張りましょう！今後も分かりやすく住民をエンパワーメントできる会を開いてください。
- ・持続ある粘り強い活動に敬意を表します。
- ・情報掲示板(インターネット)を再開すること。95~99年頃までのオウム関連番組(幹部出演)を見直すときが来ているのではないか？沈滞気味の住民運動のモチベーションになるはずだと思います。
- ・夜は参加が厳しいが、昼は参加しやすい。
- ・これは警察の仕事になるのですが、中学校で行っているセーフティ教室の際に(インターネットの勉強に加えて)カルト問題も加えられないでしょうか？
- ・信者の脱会後の支援は重要な課題である。
- ・オウム解散が良いと思いますが、オウムに現在のアパートを家主さんが貸さないようにしたら一番の早道だと思います。
- ・日中のデモは初めてだったが今後も大いにやった方がよい。

住民協議会通常総会行われる

住民協議会通常総会が6月14日(水)、午後6時30分より、約80名の参加で行なわれました。

世田谷区の山田助役は住民協議会の5年半に亘る、オウム真理教との闘争に、ねぎらいの言葉の後、自身の地下鉄サリン事件での体験談もまじえ、粘り強く活動する事を要請されました。同時に行政としても援助を惜しまない事、そして共に闘う事を表明されました。

倉本俊幸住民協議会会長の挨拶、事務局長から一年間の活動報告、財政部より決算報告、予算の提案、その後これ

からの活動計画等が提案され、全員一致で承認されました。



その後、6月17日に開催される第12回抗議デモ・学習会の成功に向け、様々な対策や行動が提起されました。

全員で成功に向け、意志統一をし散会しました。

住民協議会活動報告

6月11日(日) 抗議デモ・学習会の広報活動
6月14日(水) 住民協議会通常総会
6月16日(金) 抗議デモ・学習会の広報活動
6月17日(土) 抗議デモ・学習会の広報活動

6月17日(土) 第12回抗議デモ・学習会
7月3日(月) 協議会ニュース58号初校正
7月5日(水) 事務局会議
7月10日(月) 協議会ニュース58号再校正
7月17日(月) 協議会ニュース58号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。